



新たな自転車シェアリングは電動アシスト自転車！

現委託業者との契約期間満了に伴い、新たな事業者と自転車シェアリング事業業務委託契約を結び、電動アシスト自転車の導入が決まりました（昨年の3月議会で提言）。利用開始は12月中旬を予定。利用料金は60円/15分、1日上限千円。サイクルポートは今までと同じ場所でスタート。（グリーンズ川越72号参照）

平成29年度一般会計歳入歳出決算認定について



5年前との比較で市の財政を見る

市税収入（市民税・固定資産税・都市計画税・他） 23億円増
 歳入（一般会計） 73億円増 歳出（一般会計） 72億円増
 市債残高 121億円増 積立基金残高 6億円減
 経常収支比率 3.8%増の97.0% 毎年同じように支出される経常的な経費に全体の何%かかっているかを表している数字。中核市平均は92.3%(28年度決算)。

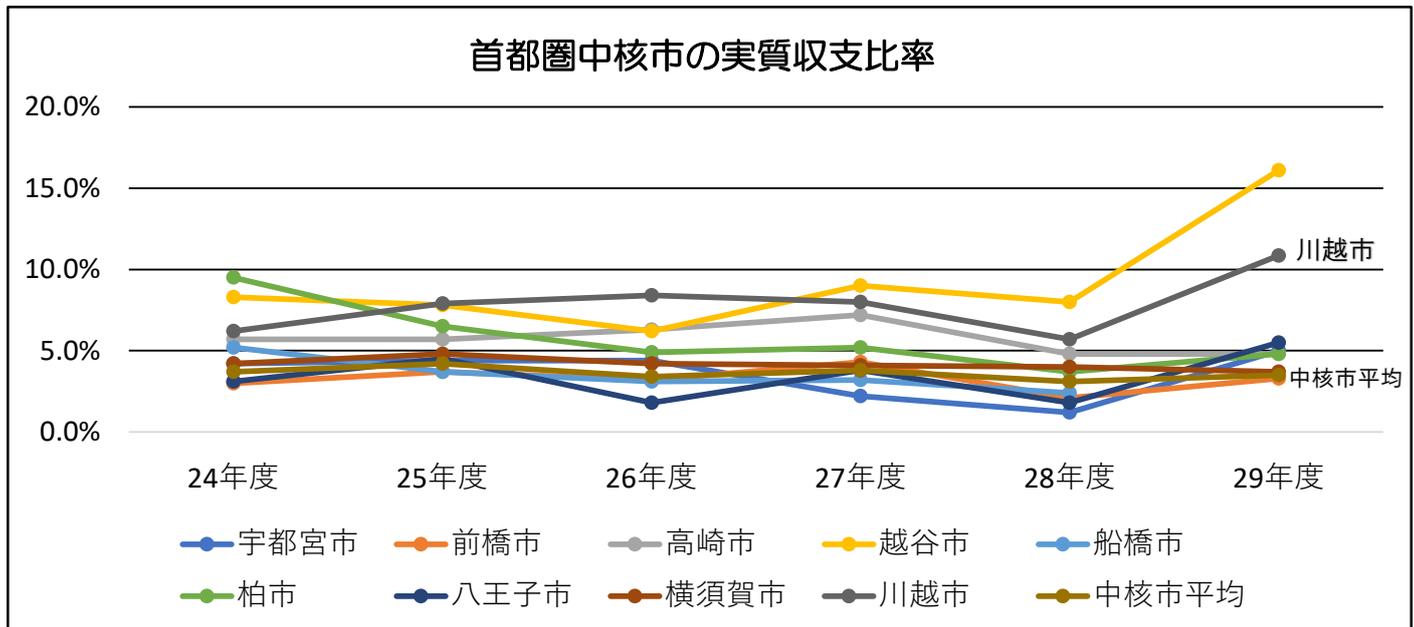
自主財源である市税収入は、5年前との比較で23億円増えています。歳入歳出額は70億円以上増えています。そして市債(借金)は121億円増え、基金残高(貯金)は6億円減っています。つまり、依存財源である市債や基金の取り崩しなどにより成り立っていることがこの数字からもわかります。

実質収支比率に注目 (グリーンズ川越74号参照)

実質収支比率は、一般的に3%~5%が適正な範囲とされ、3%を下回った場合は、不測の事態が生じたときに弾力的な対応ができないとされ、5%以上の場合、年度途中で多額の不用額(予算額と実際に支出した額の差額が大きくなること)等の実態を把握していれば、基金への積み立てなど、補正予算等での対応により財源の有効活用ができたにも係わらず、そうした措置がされず、適正な財政運営ができなかったものとされています。

本市は28年度は5.7%と低減しましたが、29年度は10%を超え、他の中核市と比較しても高い水準であり、財源を有効活用できなかったとされる5%を常に超えているのが分かります。

この数値は、人口規模が大きい自治体ほど小さい傾向があり、29年度版地方財政白書によると、政令市平均は1.4%、中核市は3.7%、人口10万人以上の中都市は5.7%、10万人未満の小都市は6.3%、1万人以上の町村は6.8%、1万人未満の町村は7.6%となっています。



* 越谷市・八王子市はH27年4月から中核市に移行

	宇都宮市	前橋市	高崎市	越谷市	船橋市	柏市	八王子市	横須賀市	川越市	中核市平均
24年度	4.2%	3.0%	5.7%	8.3%	5.2%	9.5%	3.1%	4.2%	6.2%	3.7%
25年度	4.4%	3.7%	5.7%	7.8%	3.7%	6.5%	4.5%	4.8%	7.9%	4.2%
26年度	4.4%	3.2%	6.3%	6.2%	3.1%	4.9%	1.8%	4.2%	8.4%	3.4%
27年度	2.2%	4.3%	7.2%	9.0%	3.2%	5.2%	3.8%	4.1%	8.0%	3.8%
28年度	1.2%	2.1%	4.8%	8.0%	2.4%	3.7%	1.8%	4.0%	5.7%	3.1%
29年度	5.0%	3.3%	4.8%	16.1%		4.8%	5.5%	3.7%	10.9%	3.5%



市政についてや環境問題 これってな〜に？わかりやすく教えて？にお答えします！

〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 政晴会議員控え室
 TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com